

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2024～2025 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「奉仕の実践を通じ、求められ、

必要とされるロータリアンに」

例会日：毎週木曜日 18時30分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会長：大藪 太

副会長：土屋 敏幸

幹事：後藤 政之

会報：北原 慎

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL (0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

前例会の記録 第 2156 回

2024年10月17日(木)

場所 例会場(関観光ホテル)

担当 会長・幹事

本日のプログラム 第 2157 回例会 2024年 10月 24 日(木)

『 能登半島地震での初期医療対応の報告 』

担当：尾崎 将之 会員 / 産業医科大学 緊急・集中医療医学 教授

*国歌「君が代」斉唱

*ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

*4つのテスト唱和

*会長あいさつ 大藪 太 会長

今日の例会は IGM の報告とクラブア
ssenブリー、地区大会の報告です。

発表される皆さん、よろしくお願
いします。先週の週末に関市刃物祭りが

開催されました。例年のように会場でポリオ撲滅募金活
動を行いました。今年は13日(日)が稲刈り体験事業
になっていたため、12日(土)1日のみの活動になりま



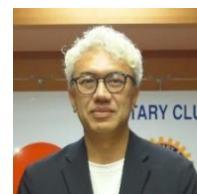
した。当日は翌日の稲刈り体験事業のために朝7時から田んぼの畦と駐車場の草刈りも行いました。参加された皆さん、お疲れ様でした。私は13日の稲刈り体験事業には参加できませんでしたが、無事終了して何よりです。大変お疲れさまでした。そして、ポリオ撲滅募金活動には関商工のインターアクトクラブの生徒も参加し、たくさんの方に募金をしていただきました。こちらに参加された会員の皆さん、お疲れ様でした。また14日(月)、岐阜都ホテルにおいて2630地区 DEI 推進セミナーが開催され、私と幹事の後藤さんで参加しました。13時に点鐘があり、国歌斉唱、ガバナー挨拶などのセレモニ

一の後、特別講演がありました。講師はルーマニア出身、岐阜市でレストラン「ヤシベ」を経営する女性アンドラ・グロスさんでした。アンドラさんは日本在住 22 年、ルーマニア料理を通してルーマニアの文化を広め、在日ルーマニア大使館と協力してイベントやケータリングサービスを行っています。ルーマニア語、日本語、英語を操るトライリンガルであり、ルーマニアと日本の文化をつなぐ YouTube チャンネルも開設しています。アンドラさんは講演のテーマは「コネクティング・カルチャー」で「文化の融合」といった意味でしょうか。日本の好きなどころとしては時間を守る、街が綺麗で安全、健康保険制度がしっかりしている、役所などの公共サービスが充実している点などを挙げられました。また良くないところとしては、女性の地位が低い、新しいことをやるのに時間がかかる、間違えることを恐れる、引きこもりが多い点などを挙げられましたが、総体的には岐阜が好きであり、もっと岐阜に人を呼んで活性化したいと言われました。休憩をはさんでパネルディスカッションがあり、パネリストとして亀井ガバナー、玉野ガバナーエレクト、アンドラさん、そして女性会員が所属する 7 つのクラブの代表者が参加しました。テーマは、「クラブ内で女性を増やすために実行している行動、方法について」「女性ならではの奉仕活動・会の活性化の活動」「クラブ内でのハラスメントについて」「手に手をつないでやっていますか」の4点でした。「クラブ内で女性を増やすために実行している行動、方法について」では、特に何もしていないというクラブが多く、口コミが多いということでした。「女性ならではの奉仕活動・会の活性化の活動」では、女性は物言いが柔らかいので、伝達する仕事に向いている、親睦委員長にして、女性ならではのきめ細かい親睦活動を考えてもらう、少ししんどい仕事をまかせて、達成感を持たせるなどがありました。「クラブ内でのハラスメントについて」では、特にハラスメントはないというクラブがほとんどでしたが、受け取り側の問題である場合が多いとか、重要な役に就くほど気をつけた方が良いという意見がありました。「手に手をつないでやっていますか」ではパネリストとして登壇したクラブを含め、ほとんどのクラブがやっているということで、やっていない身としては驚きました。最後に所感や講評があり、予定より少し早い16時前に点鐘があり終了しました。

*9月度 IGM 報告

林 剛司 会員

9月度の IGM は9月に開催予定だったのですが、台風の影響で10月3日まごろくで行いました。カウンセラー 後藤政之さん、R情報委員 西田健一さん、世話係 長谷部貴司さん、出席義務者 古田育則さん、波多野篤志さん、レポーターに林剛司、合計6名 まごろくで開催しました。テーマは『ロータリーの事業 今と昔について』西田さん、古田さんから「昔の事業は寄付事業が多く、旅行する機会が多くあり、とても楽しかった」「昔の IGM はメンバーを自宅に招いて開催していた」と、お聞きしました。おもてなしをされる奥様は大変だったのでは…と驚きました。西田さんからは「交換留学生の事業も思い出深く、オーストラリアの交換留学生に娘を取られた」と、冗談を言ってみえました。色々な場所での会員目撃情報がいくつも出てきて、先輩方のジェントルマンを感じました。また、自分もどこかで見られているかもしれないので気をつけようと思いました。しかし、これもまたロータリーが結びつけた深いご縁なのかもしれません。最後に古田さんからすごい名言が出たのですが、参加者6人の秘密とさせていただきます。



*10月度 IGM 報告

川村 紳一 会員

カウンセラー 森敬さん、R情報 古田博文さん、世話係 北原慎さん、レポーター 川村紳一、出席義務者 石原妙生さん、藤村勇太さん、加藤宏紀さんの7名で行いました。カウンセラーの森さんから会員増強委員長立場で「一人でも多く、知り合いを紹介してほしい」「関中央RCの会員は年配者が多いため、紹介者が限られる」「年齢が若い藤村さん、加藤さんに友達を紹介していただきたい」「女性の方が一人で入りづらいのであれば、友達を誘って入会して頂きたい」と挨拶がありました。会が進む中で、新入会員の藤村さん、加藤さんからロータリークラブの用語について質問がありました。IGM → インホームル・グループ・ミーティング：少人数で行われるので本音で話が出る会である。東海北陸グループ2630地区とは？ ガバナー、ガバナー補佐とは？ また、関ロータリークラブと関中央ロータリークラブの関



係、インターアクトクラブ等々…簡単に説明をしました。10月 5、6 日の地区大会はロータリークラブのメイン行事であり、73RC から多くのロータリアンが参加すること、他にもIMがあるなど、参加することでロータリークラブのことが少しずつわかってくるのでは…とお伝えしました。当クラブは、青少年育成、ひとり親家庭の子供たち、台湾交流事業がメインで、その他の行事も多々あるので是非参加していただき、ロータリークラブを楽しんでほしいとお話しました。まだまだ色々な話が出ていましたが、何れにしても有意義なIGMでした。

* C. A. 地区大会報告 (10/5, 6)

石原 妙生 委員

私の報告は二日間全体の流れをザックリとお話します。10月 5 日朝、関バスターミナルで集合、10 人乗りのレンタカーにて一路、三重県名張市の会場へ会員 9 名で出発しました。一日目は昼食が出ない為、会場近くのレストランで食事を摂り、のども潤し、元気が出たところで会場入りをしました。会場は名張市のads ホール(文化ホール)で、受付登録したところ、“なんと”当日のプログラム等資料が無いとの事。こんな事、前代未聞で皆で文句をブーブー言いながら会場入りしました。オープニングアトラクションでは「狂言」で演目「鬼瓦」が行われました。聞いていても内容は分からなかったですが、お堂の鬼瓦が国許に残した女房の面にソククリに見え、妻を思い出し大泣きする大名の話で演じたのは茂山七五三(しめ)という人間国宝でした。その後、ガバナー、RI 会長代理が入場され、点鐘・オープニングのセレモニーが行われ、次に基調講演として RI 会長代理の森洋様の話がありました。中小企業団体代表でもあり、最低賃金上昇への対応、人手不足、後継者不足の話をされロータリーでは補助金を利用して活発な事業を行ってほしいと言われました。続いてロータリーアクト、ロータリー財団学友会、交換学生等の代表のスピーチがあり、特別講演では「ロータリークラブに入ろう！」の題で高崎 RC、田中久夫様の大変良い話がありました。田中様は自身のクラブ会長の時、会員 64 名の所 51 名増の 115 名にし、現在では 140 名を誇り、北関東最大クラブとの事。話は内容の濃いものばかりで少し紹介すると、成功の口癖:それは自分は挑戦したという事実。関連で NBA

のマイケルジョウダンの名言は、「人生で何度でもミスを繰り返しただから成功した」という言葉。ポジティブな思考・発言が出来るか その様な“思考は実現する”との事。特別講演が終わり、休憩をはさみ今度は記念講演「人道支援と人生のモチベーション」の題でテレビでもお馴染みの、インドネシア元大統領夫人 デヴィ夫人の話がありました。少し紹介すると、ラッキーだった事は貧しさを経験した。人の三倍努力・勉強した。戦争を体験した。と言う。とにかく感動することが大事で一日10回は感動したいし、健康にも良いと言われ、人生の目的を持って「気」を立て 108 才迄生きたいと話されました。以上で一日目は終了しました。宿泊のホテルへ帰り、夜はクラブのメンバーの親交を深めるための懇親会を近くのお店で行い、食事とお酒を楽しみました。二日目は会場が変わり、マツヤマ SSK アリーナというところになりました。オープニングは名張の紹介ビデオが流れ、推理作家の江戸川乱歩の生誕の地や赤目四十八滝等が有り、自然豊かな土地であると紹介された。その後のセレモニーでは昨日同様の事が行われ、ガバナー・三重県知事・名張市長の挨拶が有り、それから参加クラブ紹介、RI 会長のビデオメッセージと続き、地区現況報告、大会決議採択、RI 表彰他感謝状の贈呈が行われました。二日目のメインである記念講演はオリンピック金メダル三連覇の柔道家 野村 忠宏氏による「折れない心」の講演を聞きました。話では、なぜ柔道だったかは、色々スポーツをやったが一番楽しいのが柔道だったから。但し大学二年までは弱かったが、大学の先生との出会い、ある言葉で自分の意識を変えて練習に取り組むことで強くなった。その後、年が経つにつれ変化に対応した自分をつくる事をし、今しか出来ない事を考えた。最後は自分が何をしたいのか、「真剣にやる事で見えることがある!」「価値のあるものを見極める事が大事」と結ばれました。この言葉を聞いて自分もグッと来るものが有りました。記念講演後、ガバナーエレクト、ガバナーノミニの紹介があり、エレクトは桑名北 RC の玉野英美さん、55 才女性。ノミニは大垣中 RC の河合 伸泰さん、ロータリー歴 5 年で年は私と同じで驚きの連続でした。次に次期開催地の発表等が行われ、約30分遅れで点鐘となりました。やっと13時30分頃から大昼食会が始まり、アトラクションでは朝ドラにもでた「OSK 日本歌劇団」によ

るステージが有り、足の長さ、スタイルの良さに感心しました。最後に大抽選会が有りましたが、誰も当たりは出ず残念でした。今回の大会登録数は1359人で、ポリオ募金額は213,000円との事でした。帰りの車中は、飲み物を追加しながら楽しく帰ってきました。また、今回の各講演は大変素晴らしい内容でした。もっと沢山の出席が有れば、もっと良かったと思います。最後になりますが、行・帰り共安全運転の後藤幹事には感謝です。有難う御座いました。

*C. A. 地区大会報告 (10/5)

大藪 太 会長

10月5日(土)、名張市 ads ホールにおいて2630地区の地区大会に参加しました。朝8時半頃、関シティーターミナルを出発し、途中御在所 SA で休憩し、名張市に入って会場到着前に昼食を取り、12時前には会場に到着しました。点鐘前にアトラクションとして、人間国宝、茂山七五三(しげやましめ)様の狂言の鑑賞がありました。狂言を見たのは初めてでしたが、中々興味深いものでした。12時35分、森洋 RI 会長代理入場の後、点鐘があり、第1日目、会長幹事 AGCC 地区リーダー育成セミナーが始まりました。大韓民国国歌、タイ王国国歌の演奏があり、君が代斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱と続けました。そして大会実行委員長の歓迎の言葉、名張 RC 会長の挨拶、来賓の紹介、ガバナー挨拶がありました。その後 RI 会長代理による基調講演がありました。演題として「中小企業とロータリークラブ」と名付けられ、ロータリーというのは中小企業の集まりといっても過言ではなく、製造業、サービス業、弁護士、司法書士等様々な職業があり、文字通り多様性(ダイバーシティ)があるのがロータリークラブであるという内容でした。RI 会長代理は日本に4つある経済団体の1つ「中小企業団体中央会」の会長として総理官邸に呼ばれることもありそこで意見を述べられるわけですが、とりわけ最低賃金の話で呼ばれると、そこには連合の会長もおり、その場で労使会談が開かれるわけです。そこで岸田総理は時間給1500円を目指すと言われたそうです。先の国会で新総理に指名された石破総理は時給2000円代を2020年代に実現しようと言われています。そのためにはデフレからの1日も早い脱却が大切であり、



ロータリアンとしてはそれぞれの所属している企業がしっかりして、地域社会で活躍できないと地域にインパクトを与えることが出来ないわけです。社会的にも責任を果たしながらロータリー活動をして、市民にも地域社会にも理解されることによって市民の共感を得、ロータリーが魅力的なものに見てもらうことにより新たな仲間の獲得にも繋がるので、会員増強にもつなげていただきたいと言われました。その後ローターアクトクラブ代表や交換学生代表のスピーチをはさみ、第2840地区パストガバナー、高崎 RC 田中久夫様の特別講演「ロータリークラブに入ろう」に移りました。田中様は高崎 RC 会長だった1年間に64人だった会員数を115人へと51人増やしました。また女性会員も0人から7人に増えました。現在は140名の会員数で、女性も11、12名います。田中様は会長就任にあたり、会員増強するための話し合いを持ち、5つの問題点を洗い出しました。まず大事なのが、ロータリーの露出を増やすこと、地元の人にロータリーがどういう団体であるか知ってもらうことが大事ということ。2番はネットワークを広げよう、様々なネットワークのシステムに乗せて、様々な情報を提供すること。3番目、各ロータリーでやっている様々なプロジェクトに市民を巻き込むことが大切。今日のように記念講演に一般の方を呼んで参加してもらうことも大事。参加してもらってロータリーがやっていることを知ってもらうことが大事。4番目、最も大事なのが若者に届けること、今日の地区大会の参加者はほとんどがベテランでシニアと呼ばれる年代ですが、大切なのは若者に対してロータリーがこんなところだと説明すること。入ってくれた若者を大事にしてロータリーの印象をよくしないと会員は増えない。田中会長の時は理事メンバーを全員若くして、そういう連中が知ってる人を連れてくる、それを楽しませてあげれば自然に会は大きくなる。そして増えた若い世代が次の世代を連れてくる、この繰り返しにより会員数は増えていく。この流れが出来れば会員増強は簡単になる。また田中会長はガバナー時代、各クラブの会長幹事を集めて話をされました。自分のクラブを見渡して会員を A と B のタイプに分ける、A は若手だけれども今後クラブを率いてくれるような人。B は自覚して改善して欲しいような人 A タイプの特徴は、釈迦の教えにある「人生を共に語り合える友を得ることが大切」に値す

る人、2番目は孔子の言う「物事を知ることよりも楽しむことが大切」といえる人、3番目は「失敗しても良いから挑戦する人」、失敗するからこそ物事を学ぶ、若いからこそ出来る人。Bタイプの特徴はクラブの将来に関心が無く、自分のことだけに執着する、自分が得をすることだけに関心があり行動が伴わない、クラブの活動に参加せず汗をかかない、いるだけで周囲が暗くなる人、こういう人が好んでいられるようなクラブではだめと言われました。田中様の講演には会員増強のエッセンスが詰まっており、今後の活動に大いに参考になるものでした。その後デヴィ夫人の記念講演があり、ガバナーの御礼の言葉、点鐘にて第1日目を終了しました。

* C. A. 地区大会報告 (10/6)

後藤 政之 幹事

10月6日(日)マツヤマ SS アリーナに於いて、地区大会 2 日目が開催されました。午前9時に、亀井ガバナーの点鐘で始まり、ホストクラブである名張 RC の勝木会長の挨拶では、名張市の紹介と大きな施設の無い名張市ではあるが、会員全員の熱い想いを届ける大会にしよう、と準備されてきたお話がありました。亀井ガバナーの挨拶では、会員増強と社会奉仕を前向きにやってほしい。今現在のロータリーの会員数は116万人で微減していつている。このままでは存在価値がなくなってしまう。ちゃんとクラブが認知されているのだろうか、志ある方を迎え入れる体制ができていないか。4つのテストを実践してさえいれば、あとは変えていい、そういう時期にきている。地域のニーズを吸い取り、活動して、それを広報してほしい。と話されました。次に、ステファニーAアーチックRI会長のビデオメッセージでは、地区大会は、多くのロータリーファミリーと会い、これまでの成果を振り返り、クラブを超えたネットワークを広げ、次年度のためのアイデアを交換する場である。またこの社会奉仕への情熱を深め、インスピレーションを与え合い、ロータリーの奉仕を新たな高みへと導くことができる。皆で協力し、支えあうことで、「ロータリーのマジック」で世界に変化をもたらすことができると信じております。と話されました。続いて RI 会長代理 森洋様の「RI の現状報告」がありました。RI 会長の今年度重要な指



針として、その1 ポリオの根絶 国際ロータリーの最優先課題。その2 平和構築について 世界平和と紛争の解決。その3 行動計画について クラブが良くなるための変化。その4 DEI の重要性について 多様性・公平性・インクルージョン。この4つを挙げられました。国際ロータリーの理事会は、活動や目標の持続性を重要課題と位置付け、2024~2025 年度をトライアル期間の初年度とし、地区やクラブに理解と協力を要請しています。3イヤーターゲットと称し、単年で終わることなく、3年間続けてみましょうということです。これはクラブの発展と活性化のために行うもので、時代の変化と共に具体的に変化していくために、RI の提唱するこの方法を「新たな挑戦のチャンス」と捉え実践してみましょう。ということでした。次に第2630地の会員概要の発表があり、2024年7月1日現在、2630地区の会員数は、3,006名 内女性会員は、193名(7%)、日本では、81,736名 女性会員は、6,489名(8%)、全世界では、1,134,303名、女性会員は、297,884名で(25%)でした。世界と比べると日本はまだ女性会員が少ないといえます。そして最後に、1935年のポール・ハリスの言葉、「世界は変化している、我々も世界と共に変化する心構えをもたなければならない！」で締めとなりました。大会特別委員会報告と大会決議採択、各表彰の後、休憩を挟み、柔道家 野村 忠宏さんの「折れない心」と題した記念講演が行われました。1996年のアトランタ、2000年のシドニー、2004年のアテネオリンピックで柔道史上初、また全競技を通じてアジア人初となるオリンピック3連覇を達成された野村さんは、祖父は柔道場館長、父は天理高校柔道部監督という柔道一家に育つも、体が小さく、試合でもなかなか勝てず、周囲からも期待されることもなく、天理高校柔道部に入った際は、監督である父親に、「無理に柔道せんでいいぞ」と言われたそうです。それでも自分で選んだ柔道から逃げたくない、強くなりたという一心で、祖父に習った背負い投げを磨き続け、高校3年生でやっと県大会優勝できたそうです。その後天理大学柔道部に進み、恩師の細川先生に「練習は頑張ってるが、試合にはかかってないな。」と言われたのが転機となり、ただただ苦しい練習をこなすだけになっていたことに気づき、それ以降明確な目的意識を持ち、強くなるために何をすべきか常に考えるよう

になり、その時期に体も筋肉がついてできてきて、こつこつ磨いてきた背負い投げがきまるようになり、大学 2 年生で全日本優勝、4 年生でアトランタオリンピックに出場し、金メダルを取るという明確な目標、相手選手の対策、そして自分の柔道のテーマ、前へ出る、不利な状況でも顔に出さない、終了の合図が鳴るまで全力で相手に向かう、というテーマを持って臨み、金メダルを獲得しました。次のシドニーでは、金メダルを獲った何とも言えない喜びをまた味わいたい、とすぐにシドニーを目指すことを決意。ただ前回と違い、この 4 年間は、肉体の衰え、若手の台頭、ルールの変更、金メダリストとして、世界中から研究されるプレッシャーと、変化へのチャレンジだったそうです。そして技のバリエーションを増やす、というテーマを掲げすべて違う技で一本勝ちして、金メダルを獲得しました。その後は次のアテネを目指すことができるのかどうか、4 年間チャレンジし続けることができるのかどうか、答えがすぐ出せず、2 年間柔道からはなれたそうです。柔道からはなれた生活は楽しかったそうですが、次第に生活に張り合いの無さ、かつてのライバルたちのニュースを見聞きしていくうちに、現役復帰しアテネを目指す決意をします。ただ 2 年間のブランクによる、肉体や試合勘の衰えでなかなか試合に勝てず、周囲からも野村は終わったと言われ、相当悩んだそうです。それでもアテネで 3 連覇に挑戦したいという信念は変わらず持ち続け、そのために何をすればいいか、考えに考えた結果、実力の伴わないプライドを捨てることに気付いたそうです。2 連覇した時の自分と2年間のブランク開けの自分の実力を認識しつつ、アテネへの挑戦を諦めない、それでだめなら仕方がないと思うようになり、心の持ち方、柔道への取り組み方、日常生活の過ごし方を見直し、結果3連覇につながったそうです。常に明確な目標、強い信念を持ち、その時その時の時代や自分の変化を認識して、意味のある努力、価値のある努力を見出し、継続することにより、オリンピック3連覇という偉業を達成した野村さんの言葉には説得力があり、この2日間で一番楽しみにしていた講演で、いいお話が聞けて大変良かったです。その後は、ガバナーエレクト、ノミニーの紹介、次期開催地は桑名北 RC がホストで桑名で行われることが発表され、閉会となりました。午後からは、大昼食会が行われ、お弁当を食べなが

ら、OSK 日本歌劇団のアトラクションや大抽選会があり、我がクラブは何も当たらず帰路につきました。この2日間、事故やトラブル無く、大変中身の濃い2日間でした。



*出席委員会

会員数 30 名、本日の出席 13 名です。

*ニコボックス委員会

会長・副会長・幹事

本日は地区大会、9 月度・10 月度の IGM 報告があります、報告者の皆さん宜しくお祈りします
13 名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

- ・10 月のロータリーレートは、1ドル 142 円です。
- ・各務原 RC より ガバナー補佐第 3 回クラブ訪問については見送ります。次回クラブ訪問は来年5月～6月を予定しております。
- ・10 月 12 日のポリオ撲滅募金活動、参加いただいた会員の皆さんありがとうございました。募金額は、58,107 円でした。財団に送金します。

<次例会の案内>

*10月31日(木) 休会

*第2158回 11月 2日(土)

東海北陸道グループ IM

場 所：各務原市産業文化センター

受 付：13時30分／開式点鐘：14時00分

担 当：会長・幹事